

折居彪二郎資料「樺太鳥類二就テ(1926)」II

説田 健一・齊藤 郁子¹

“The birds in Sakhalin (1926)”

by the professional hunter, Hyojiro Orii II

Ken-ichi SETSUDA, Ikuko SAITO

1. はじめに

本稿は、説田・齊藤(2009)に引き続いて、苫小牧市中央図書館が所蔵する「樺太鳥類二就テ」の1926年9月7日以降の日誌について活字化したものである。これで、苫小牧市立中央図書館が所蔵する折居彪二郎の日誌は全て活字化された(齊藤・嵩原, 2003, 2004, 揚妻, 2005, 説田・齊藤・鷺田, 2006, 説田・齊藤, 2007, 2009, 大畑・鷺田, 2007, 川崎・大畑・小玉・長谷川, 2009)。

参考文献は説田・齊藤(2009)で引用したのもも含め掲載した。

2. 凡例

活字化にさいしては、次のようにした。

- ・旧漢字は原則として常用漢字に改めた。
- ・判読不能の文字は「□」とした。また、『大漢和辞典』(諸橋轍次著 大修館書店)に無い文字は「■」とした。
- ・誤りと思われる文字もそのまま起こし、「ママ」とルビを付した。補足が必要な部分は[]内に推測される文字を示した。また、文意が通るように補足した部分も[]内に示した。
- ・原資料の欄外にある書き込みは{ }で括り示した。
- ・原資料で見せ消しにしている部分は、文字が判読できるものは二重線を引いて示し、文字が判読できないものは「●」で示した。
- ・疊字である縦長の「く」は、該当する文字を起こした。
- ・明らかに空白としている部分はそのまま空白とした。
- ・句読点を適宜補った。なお、原資料の句読点は、より適当であると思われるものに訂正した部分もある。
- ・本文中で、二列または三列組で記された観察鳥名などのリストは、一列に改めた。
- ・記載されている鳥名は、現在使われている和名と異なる場合もあるが、原則として原資料に忠実に文字を起こした。

・一部に現代の感覚では不適切と思われる表現も見られるが、原資料の学術的価値を考慮しそのまま翻刻した。

3. 原文

九月七日

早朝銀山マシコオ得可クKO.KUニ趣[赴]キシモ折柄大雨ニテ全身滾[濡]ル事三時間漸ク正午ニ至リテ晴ル。例ノ場処ニ行キシモ一鳥オ見ズシテ帰レリ。葡松ノ間オ縫テ進行シ小尺シキラシク思ヘタルモ多数ノ中尺ナリ。然シ五六羽オ打取りシモ矢張り失望ニ終レリ。其ハ嘴短キ故小尺ラシク思ハル。即チ二寸前後ナリ。此日午後日没近ク平原を歩行中、草原ニテ樺太雷鳥オ見十羽ノ中四羽オ打落シ他ハ遠ク逸セリ。狐ニ五号一射シ逸ス。

九月八日

早朝ヨリ昨日雷鳥オ探尋シテ野オ抜[跋]渉スル事五時間遂ニ出会セス。正午少シク前ニ散江ニ向ケ出発ス。今回ノ行ニヨリ新夕ニ実見セシ鳥三日間ナルモ相当多数ニ昇ル。

爪長ハ一部渡帰し去リテ小数丈ケ居残り居レリ。ヒバリモ少クナレリ。センニウハ少クナレリ。

{散江ヨリ船越迄ノ鳥}

九月六日ヨリ八日ニ至

実見鳥類

田シキ	渡来始	少
トウネン		多
メリケン黄足		多
磯シギ		少
浜シギ		少
オバシギ		少
樺太青足シキ		少
青足シギ		多

¹ 財団法人沖縄県文化振興会沖縄県公文書館嘱託員

大膳千鳥	少
中尺シキ	多
小尺シギ	少
キヨシヨシギ	多
巴鴨	△少
小鴨漸ク渡来	少
銀黒羽白	多
ヨシ鴨	多
真鴨	多
尾長鴨	多
シノリ鴨	多々
アビ	多
脊 ^{ママ} [背]黒カモメ	多
アジサシ	
タカブシギ	
大タカ	少
隼	少
ミサゴ	少
ヒバリシキ	希
白セキレ	多
野ヒタキ	少
シヤウドウ燕	少
雨燕	少
ホシガラス	多
嘴細カラス	多
白服 ^{ママ} [腹]木回	少
無地セツカ	少
夷蟲食	多
北日柄	多
小柄	多
菊戴	多
ルリ鶺鴒	少
樺太田ヒバリ	(渡来始) 少
ビンズエ	多
爪長セキレ	多
ウ(姫)	
{ <u>散江附近ノ鳥</u> }	
九月中実見ノ者	△ハ渡来ノ者 ○ハ去リツヽ在ル者
三指カモメ	多
盜賊鴟	少
ヒドリ鴨	多
野頃九月十二日ヨリ	
爪長ホジロー	少

尾長フクロ	少
青鷺	少稀
シマフクロ	少
キンメフクロ	少
ビロート銀黒	少
黒鴨	少
ヒバリ	少
大ヒバリ	少
野スリ	少
銀山マシコ	希
鎌羽雷鳥	少
樺太雷鳥	少
菱食	多
真鷹	多
トウ賊鴟	希
アビ	多
ルリ鶺鴒	少
赤モズ	希
ホシガラス	少
北日柄	多
白服 ^{ママ} [腹]木回	少
白額木回	少
熊ゲラ	希
樺太深山カケス	少
赤尾カケス	少
樺太ミソサバエ	少
大蟲食	少
小蟲食	多
ウソ(赤ウソ)	少
マキノセンニウ	希

{尾長フクロ}

{大正十五年九月十二日野頃行}

船越附近ノ片附オ了シ野頃ニ向フ。ジムタキニ於テ無地セツカオ見テ是オ獲タリ。往路ハ雨降ノ為メ二午前十壹時頃散江オ出発ス。穀貝ニテ松本甚三郎方オ問ヘシニ折角[悪?]シク満員ニテ宿泊スルオ得スシテ直ニ野頃古木鉄太郎方ニ趣^{ママ}[赴]ク。日没シテ漸ク宿ルオ得タリ。

大正拾五年九月十參日

本日彼ノ大雷鳥オ獲ン者ト西野頃ヨリ北東拾シテ原野ノ松林地滞^{ママ}[帯]ニ近ク拔^{ママ}[跋]涉セルモ一向鳥オ見ス。処々ノ水溜ニ田シギノ一二羽づヽ飛立オ射ニ羽オ得タリ。此日午後五時頃ニ至リテ樺太雷鳥ノ野原ノ多少高クナリ居

レル乾燥地ヨリ三羽づ、二度飛去リシオ見テ元気加はり終日^{アツ}跋^{アツ}渉セルモ其他ノ変リシ者オ見ズ。九号河ノ上流ニテ松林中ニ^{アツ}能^{アツ}[熊]ゲラノ鳴声オ聞シ故近接セントセシニ丁度前方ヨリ尾長フクロノ飛来シテ高二梢ニ止マリシオ見附ケニ五号弾一射シテ獲是タリ。尾長ハ六寸壱分在リテ頗ル美麗ナル者ナリ。sp NO 137番783、♂ナリ。此種ハ土地ノ土民等ト雖モ余リ知り居ル者少ク土人ニ尋ネシニ（フンゴロ）ト称セリ。甚希ナル由ナリ。

大モズハ大曠原ノ落葉樹林ニ止マリ居ルオ

{赤モズ 樺太田ヒバリ 大蟲喰}

時々見ヘタリ。思フニ夏季ハ此方面ニ居ルニ非スシテ尚遠ク北方ニテ^{アツ}蕃^{アツ}[繁]殖スル者ノ如シ。

（赤モズ）ハ六月以来一羽モ見シ事無キモ今回唯一羽オ見テ獲之タリ。此種モ曠原ノ松林ノ幼樹地ニ発見スルオ得可シ。

（樺太田ヒバリ）ハ沼沢水辺ノ葭又ハ深キ草中ニ潜ミ飛行敏活ニシテ善射スルニ非レバ中々獲難ク広原ノツンドラ帯ニハ余リ見受シ事無し。漸ク此頃渡来シ始メシテ数極メテ少ク然モ群居セスニ羽づ、処々ニ見ラレタリ。然シ乍ラ渡ル時ニハ小群オナス者ト思ハル。ピンズエト異リ春ハ遅ク秋ハ早く樺太オ去ル者ノ如シ。

（大蟲喰）

ハ春季五羽オ獲シ他余リ見受ケザリシニ此頃ニナリテ少シク見ユルニ至レリ。小蟲喰ト比シ少シク大形ナルノミニテ^{アツ}誤^{アツ}[誤]リ易シ。余大正拾壹年九月末沖繩県下大東南嶋ニ於テ始メテ是オ得テ黒田長禮氏ノ命名スル所大蟲喰ト称ス。今回ノ採集ニ於テ樺太ニ於テ棲息シ南下スル者ナル事オ知レタリ。

田シギハ多来湖畔ニハ昔時無数ニ渡来シテ弾薬補給ニ困難オ感セシメシ位ナリシモ近時人ノ多ク往来スルニ及甚少クナレリ。

{銀山マシコ 大膳千鳥 鎌羽雷鳥}

九月十六日

銀山マシコ♂ (co NO 8795) spNO111、オ得此種ハ樺太（皇領）ニ^{アツ}蕃^{アツ}[繁]殖スル者極テ希ニシテ余ハ此種オ多数獲ン者ト心掛ケシモ今日迄ニ数回ヨリ実見シ得ズ。多分秋冷ノ候多キハ北沿海洲及北樺ヨリ南下スル者ト思ハル。北樺太（露領）ハ平原地多ク匍松帯実ニ^{アツ}廣^{アツ}[漠]タル者在ル故其辺ニテ産卵育雛スル者多カラント思ハル。専ラ匍松ノ実オ食シ居レリ。

大膳千鳥ハ専ラ海岸及干潮時ハ沼ノ干砂ニ来リ横ノミ等オ捕食シ居レリ。群居セズ三五羽ヨリ多クオ見ス。目下

未タ冬羽ニナラザル者モ在リテ胸部ハ余リ黒色ノ者ト冬羽ハ灰色ノ者トオ見タリ。拾月迄散江半嶋ニ見ラル、由ナリ。

鎌羽雷鳥

ハ此附一帶並ニ知取群^{アツ}[郡]及敷香郡ニ於テ棲息シ居リテ各地ハ余リ多カラサルモ至ル処ノ松林中ニ見出サル。目下ハ果実（トリップ。フレッツブ苔桃等）オ^{アツ}捕^{アツ}[捕]食シ居レリ。今年度ノ雛ハ既ニ老百三四十羽ニ成育シ居リテ全長ハ壱尺二寸三分オ算ス。然シ色彩ハ未タ親ノ如カラズ。●趾ノ細葉状弁ハ夏時オ見ズ。ライ鳥、夷ライ鳥共ニ然リ。

{爪長ホジロ}

樺太深山カケス SPNO.14、1/2 新亜種ハ半嶋方面ニハ誠ニ少ク余ハ六月末ヨリ九月廿日迄ノ間ニ唯ニ回実見セルノミ。從テ此方面ニ於テ育雛スルヤ疑シ。野頃 cono797 ♀ハ白■[斑]小ニシテ尾翼共ニ短ク尾羽先端灰白ノ縁在リテ白■[斑]ノ基部ハ灰青色オ帯ブ。

爪長ホジロ

珍鳥ナリ。余ハ野頃ノ大平原ニ於テ始メテ其ノ八羽オ得タリ。彼等ハ夏時ハ遠ク北方曠原ニテ産卵スル者ラシク九月十日頃始テ渡来シ始メシモ群居セスシテ一羽飛シ乍ラ鳴ケバ其附近ヨリ又一羽ト云フガ如ク決シテ数羽接近シ居ラズ。尤モ一羽一羽飛ビ出シ空高く翔ベバ其辺ノ者はニ味シテ小群^{アツ}[群]オナス事ハ在レトモ土上ニ降ルヤ数間オ隔テ居レリ。老幼♂♀ニ抛リ色彩オ異ニス。

大モズ

ハ少ナキモ所々ノ曠原中ノ小松林ノ梢高ク止リ居ルオ見出サル。此種ハ夏季ハ北方ニ行キシ者カー向見ダラズ。此頃ニ至リテ一羽づ、離レテ目撃サル、ハ此種ヤ群棲息セサルオ表明シ居レル？

{菱喰（嘴太）}

九月十七日

例年ナラバ彼岸後壱週間目位ニ到着スル由ナルモ本年度ノ渡来ハ早く上記ノ前日即チ九月十六日ニ於テ野頃川合流点ノ沼地ノ干潟ニ於テ五羽オ見タル由ギリヤーク人語レリ。余ハ此日樺太ライ鳥オ探テ廣原オ^{アツ}跋^{アツ}渉中四羽後ヨリ飛来ス。直ニ伏テ頭上通過ノ際ニ射シテ二羽オ得タリ親鳥の方ハW尺五寸 TL四寸四分 F二寸二分 B二寸二分嘴ノ上下黄黒褐色ニシテ先端近ク橙色ノ輪在リ。

普通菱喰ニ比シ嘴角度強ク形才異ニス。即チ嘴太ヒシ喰ナル可シ。

此頃多数ノ雁姦ク鳴キ渡リテ多キハ百少キモ三四十羽ノ群九号ト十号（遠岸）ノ奥ノ野地沼地、附近ノ小灌木ノ果実才食シ居ル由ニテ是ヨリ十月ニ入レバ殊ニ多数ニナリ船越附近ノ大平原沼沢地ニ交通スル由。

小チヨケンボ

♂♀才得タリ。此頃漸ク小鳥ノ渡来期ニ入りタル故彼等モ少シク見ユル様ニナリタリ。色彩ハ美麗ナル赤褐色ニ褐色ニ[斑]ナリ。

{ヒバリ類}

ハ此頃霜置ク様ニナリシ故少クナリ行キ時々ニ非レバ見サル様ニナレリ。

ミサゴ

ハ目下盛ニ魚才捕ヘ居レリ。十月末ニ至レバ全ク見サルニ至ル由ナリ。目今ノ色彩ハ極テ美シシ。

盗賊鴟ハ

風浪高キ時ハ海ヨリ陸土ノ沼ニ来ルモ余リ多カラズ。野頃ニ於テ剥皮シ在リシ者才再製ルナリ（SP NO 141）NO,820, ♂是ナリ。

九月十九日

野頃出発散江ニ歸リシニ明日出帆ノ筈ナル棟方丸入散ス。荷役ニ二日間才要スル由ナル故余ハ直ニ剥製ニ取掛リテ諸般ノ仕度を了シ待合セシニ天候及積荷ノ都合[合]に抛リ遂ニ廿二日夜間散江出帆シテ囉[翌]九月廿三日朝九時泊岸ニ上陸スル才得タリ。

泊岸ハ小村ナルモ散江トハ異リ諸物価ハ二割位ハ安価ナリ。余等ハ手荷才

{樺太敷香郡泊岸着}

海倉庫ニ預テ梅谷旅館ト云フニ宿リヌ。陸上ノ道路ハ立派ナルモ馬車無ク明日ノ早朝ニ非レバ発動機船スト云フニ荷物ノ沢山ノ余ハ閉口シタリ。单身ナレバ二時間ニシテ新問ニ至ル可キモ荷物九ヶ在ル事トテ如何共度シ難ク廿三日ノ夜ハ泊岸ニ宿ル可ク決心セリ。

第十号小包

標本卅四ヶ入発送ス 散江局ヨリ 料一円

採集開始ス

大正十五年九月廿六日

昨廿五日ハ暴風雨ニテ出獵シ兼タリ。

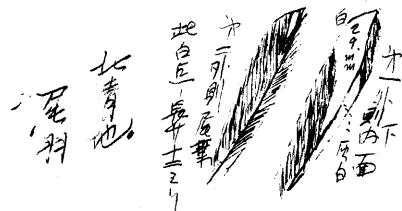
即チ本日当地ノ葉樹ノ広ク長キ林中才大約ク新問川ニ沿ヘテ上流ニ向フ。大古ヨリ伐材セサリシ者ト見ヘニ[榛]、白樺、柳、ドロ、等一面密茂シ下草ハ我等丈ケヨリ高ク中々進行シ難シ。奥ノ方ハ新開懇[墾]土大分ニ在ル故不便乍ラモ山ニ沿テ道路才造リツ、在リテ新問川ノ橋梁ハ昨年ノ出水ノ為メ破損シ流失セル由ニテ目下高街地ヨリ五六町上流ニ架橋工事中ニテ河向ヘ行ク便ハ全ク無シ。余ハ上流

{新問村三上栄助旅館方}

弍里位迄溯リシモ小鳥類ハ余リ変リシ者才見ズ。何故ナラバ渡鳥ハ海岸近ニ樹林地ニ主ニ見出サレ余リ奥ノ方ニハ未タ来ラザルガ如シ。然し留鳥ハ何処ニテモ同シク啄木鳥及木回り等ハ相当ニ見ラル、ガ如シ。熊ゲラハ相当ニ多キ方ナラン、時々鳴声才聞ケリ。余ハ午後ハ海岸近キ草原ニ趣[赴]キシニ爪長ホジロ及田ヒバリ等才見タリ。大ヒバリハ余リ少キ様ニ思ハル。昨日ヨリ色々林中ニ注意シ居リシニ未だ採集セシ事モ無キ鳥才見タルモ果シテ何鳥ナリシカ判明セサリシ。

九月廿七日 雨

宿ノ裏ニテ黄色ノ青地才得タリ。此者（sp NO 830）ハNO55ト大約同様ナルモ地色栗黄色勝ニテ殊ニ喉等ハ黄色勝ナリ。胸ニハolive色ハ全ク無此部ハ濃Buff yellowナリ。翼ノ外縁ハ淡黄白褐色ニテ目立ち三列風切ノ外縁ハ栗色ニテ巾広し。尾帯ノ色濃褐色ニテ栗色才帯フ。初列風切第一ハ短ク第五羽ト六羽ノ間ノ長共同長才有し第三、參、四約同長



{大正十五年九月廿四日ヨリ実見鳥類}

樺太敷香郡泊岸林字新問

姫鶉	少	24/9
ビロード銀黒	多	"
シノリカモ	多々	"
尾長カモ	多	"
海アイサ	多	" / 9
黄鵠	少	" / 9
大雲雀	少	" /
北日柄	多	" /

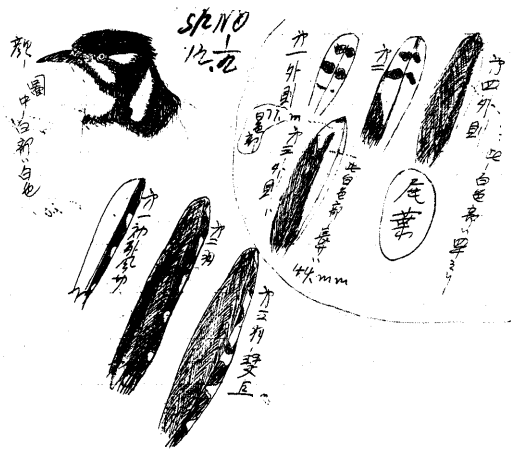
北小柄	多	"/9	嘴長雲雀	希	5/10
田ヒバリ	少	26/9	四拾雀	希	5/10
爪長セキレ	多		大■[斑]赤ケラ	希	2/10
黄セキレ	少	"	小赤ケラ	少	2/10
白セキレ	少	"	北木走	少	28/9
白服 ^{ママ} [腹]木回	多	"	樺太夷フクロ	希	8/10
白額木回	少	"	ツグミ	多	"/"
熊ケラ	少	"	日ドリ鴨	少	"/"
ノスリタカ	少	"	アトリ	少	8/10
脊 ^{ママ} [背]黒カモメ	多	"	麦マキ	"	"/"
カモメ	多	"	眉白黄鷄	少	"/"
菊戴	多	"	針尾雨燕	多	9/10
サメ鷄?	少	"	真鴨	少	"/"
赤ウソ	少	"	樺太夷雷鳥	多	9/10
赤服 ^{ママ} [腹]?	少	26/9	マキノセンニウ		11/10
嘴細カラス	多	"	大マシコ		15/10
雀	多	"	シラコ鳩?	希	17/10
河原ヒワ	少	"	シメ	少	18/10
ミソサバエ	少	"/9	海アイサ	少	18/10
鎌羽雷鳥	多	"	大モズ	希	"/"
樺太深山カケス	多	"/9	樺太雷鳥	希	"/"
黄(北)青地	多	27/9	隼	希	18/10
キジ鳩	少	27	樺太小耳ヅク	希	20/10
爪長ホジロ	多	27	銀山マシコ	少	22/10
三指ケラ (sp142)	少	28/9	ユキホジロ	少	24/10
ルリヒタキ	少	28/9	白カモメ	少	24/10
6 1/2北小啄木	少	28/9	青シギ	希	26/10
嘴太鳥	少	29/9	尾白ワシ	少	28/10
大膳千鳥	少	"/"	ミコアイサ	希	31/10
14? 胸赤田ヒバリ	少	"/"	黄レンジャク	少	2/11
小チヨゲンボ	少	"/"	十一月二日前午出発ス		
キン黒羽白	少	"/"	海上		
大河原ヒワ	少	"/"	ヒロードキンクロ	普通	2/11
大蟲喰	希	"/"	氷鴨	少	2/11
大ユリ鴉	多	"/"	嘴白アビ	少	2/11
海ネコ	多	"/"			8 6 種

{新問実見鳥類表}

脊 ^{ママ} [背]黒カモメ	多	29/9
眉茶シナイ	少	"/"
雨ツバメ	少	3/10
紅マシコ	少	3/10
赤マシコ	希	3/10
カシラ高	希	2/10

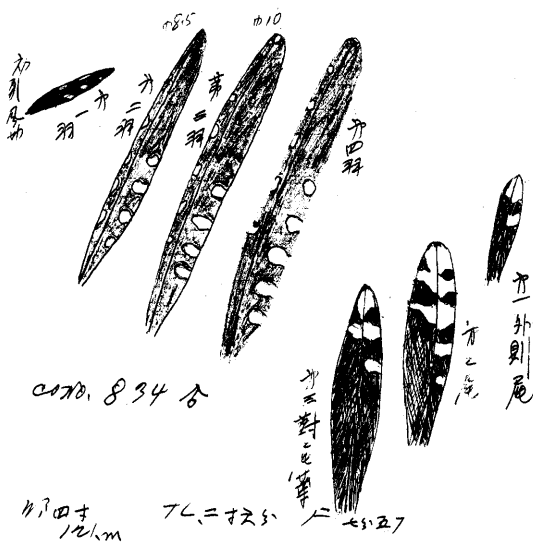
{北小啄木}

sp NO 12 二近ク然モ色彩淡色ニシテ腮喉等ハ白色眉■
[斑]ハ白色ニテ眼ノ直上ヨリ始リ長ク後方ニ達ス。尾羽
ハ中央ノ物ハ発生中ナルオ以テ標準トシ難キモ■[斑]点
ノ具合ハ確カ二面白キ変リ者ト云フ可キカ(sp NO 12,831,
♂ノ図)



♂
 Wi二寸九分 TL、卷寸六分 F四分五厘 B四分八厘 gl、
 四寸八分半 Wd、五ウ五分

spNO 142 三指ゲラノ翼及尾 coNO 834 ♂



大正拾五年九月廿九日
 晴雨時々故二早ク引揚ケ宿ニテ調方才始ム。
 大蟲喰ノ翼ニ就テ殊ニ異ル点ハ小蟲喰ノ翼ノ各羽長ト大
 差在リ。即チ本種ハ第一初列風切羽ハ雨覆ヨリ式ミリ長
 ク 第二羽ハ五羽ヨリ長サ余程短ク第六羽ヨリハ長シ。
 第三風切ハ最長ニテ第四羽ニ是次キ第五羽モ少シノ差ニ
 テ短シ。腹[腹]面ハ白地ニ淡鮮黄色オ帯ビ中央ハ一條ノ
 黄(淡)條在リ。眉ハ黄ク脊[背]面ハ黄録[緑]色ナリ。

胸赤田ヒバリ

本種漸ク昨日当リ渡来セル者ラシク少シ海岸ニ降りテ喰
 ミツ、在リシ者数射シタルモ彈葉連日ノ降雨ノ為メト余
 ノ宿レル家屋ハ新築ナリシ為メ殊ニ湿気多ク彈葉力弱ク
 シテ射殺スルニ至ラズ不結果ニ終リヌ。目下冬羽ニ移行

シツ、在ル故胸ノ栗赤色ハ著ナラス。田ヒバリニ似タル
 モ■[斑]点大ニシテ胸腹[腹]共ニ茶バフ色オ帯ビ脊[背]面
 ハ濃褐色ノ大ナル■[斑]点散在シテ地色ハ茶少ナキ褐色
 ニテ尾長甚長ク附蹠ノ色彩ハ全ク異リ居テ褐茶色ナリ。

Hair Brown)

Wi式寸八分五厘 TL、式寸三分 F八分 B五分

ユリ鴉 ハ多シ。余ノ採集セシ846♀ハ幼鳥ナラン。尾
 羽白地ニ先端近ク(先ヨリ五分)巾七八分ノ黒帯在リテ
 嘴及足ノ色ハ淡肉色ナリシハ

Wi九寸五分 TL四寸 Fe[e]t卷寸參分 Bi卷寸四分

海ネコ ハ多数ニ見ラル白色ノ尾羽ハ先端五分程白ク巾
 二寸程ノ黒帯在リテ嘴ハ先端赤橙色黒色ニテ大部ハ青録
 [緑]色ナリ。下嘴ハ先赤橙色黒色又赤橙色ニテ大部分ハ
 青録[緑]色ナリ co847♀

金黒羽白♀ノ 肛[虹]彩ハRow siennaニテ区界明瞭ナ
 ラズ白鏡及大(初)翼■[斑]在リ。

此附近ニハ平塩[坦]原地割合ニ少ク此ノ雜木林オ除ケバ
 大低[抵]針葉樹ノミニテ海岸近クハ少シク平塩[坦]地(沼
 地)在ルモ草深クシテ各種ノ鳥ノ遊ブニ敵[適]セス。沼
 地ハ処々ニ在リテ鴨モ多少ハ遊ブモ雁[雁]ハ全ク附ク余
 地無シ。

九月卅日

諸入用品補充旁々泊岸村ニ趣[赴]ク。紅茶無ク落胆セリ。
 雷管五百個オ㊦齊藤商店ヨリ式円ニテ買受ケタリ。ラ
 クトーチン一罐ハ金三円八十銭ナリ。日本製糖ノ角糖ハ
 一ポンド入五十銭ナリシ。

帰路多数ノビンズエノ渡ルオ見タリ。田ヒバリハ渡リ
 ツ、在ル者ノ如ク五六羽ツ、オ海岸近クニ見ル。胸黒十
 羽程オ見タリ。爪長ホジロハ昨日ノ半数トナレリ。何レ
 ニカ去リシ者ノ如シ。

sp146

spNO 146 赤ケラ(大■[斑]) coNO 870 ♀

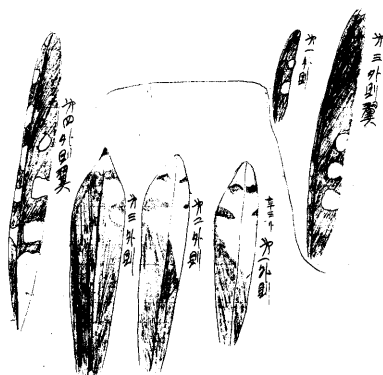


顔ノ白黒色部ノ区界

腹[腹]ノ紅色ハ上部ハボカシトナリ居レリ。

二列雨覆ハ大部白色ニテ翼ニ於ケル■[斑]点ハ極形ナリ。
二列風切ノ先端ノ白■[斑]オ除キ外内辨共ニ四■[斑]在
リテ大形ナリ。

大正拾五年十月二日採集



本日拾月式日ハ霜降強ク氷柱オ見タリ。海岸近クハ此ノ
霜ノ影響ノ為メカ候鳥大部去リシ者在リ。即チ海岸近ク
ノ原野ニ遊ビ居リシ爪長ホジロノ類ハ本朝猶多数ニ見ラ
ル可キオ予相[想]シ最[赴]キシニー羽モ不見。樺太田ヒ
バリノ胸ノ栗黄色ナルガー羽海岸ニ居リタルオ得タリ。
田ヒバリモ一羽オ見タルノミ。カシラタカ毛色変リノ者
オ一羽得タリ。三指ゲラハハ色彩ノ具合一様ナラズ。
区分種ニ困シタリ。

(大■[斑]北赤ケラ)ハ前項ニ記載ノ者ノ如キオ得タリ。
胸ハ黄白色腹[腹]部ハ紅ボカシニテ北赤ケラヨリハ紅色
部上腹[腹]迄在リテ其翼■[斑]ハ大ニテ翼■[斑]及尾■
[斑]ハ北赤ケラト異リ居レリ。思フニ田ヒバリ及赤ケラ
類ハ多数ノ標本オ獲ルニ非レバ亜種モ決定シ難ク頗ル
SP NO オ附スニ困難オ感セリ。

散江郡ニモ希ニ赤ケラ棲息スル由ナルモ右地方ハ秋晩ク
ナルニ非レハ獲難ク実ニ散江地方ハ惜キニ標本オ蔵シ猶
ホ開カレ居ラザルノ憾在リ。

新問川ノ北方ハ枯損木少ク啄木類多カラザルモ川ノ南方
ハ頗ル各種ノ啄木鳥ニ富ミ採集家ニハ興味多キ処ナリ。
未タ其他ノ啄木類オモ見ルナル可シ。

拾月三日

南方河オ越テ森林中オ涉獵ス。熊ケラー一回聞キシノミ。
三指ケラ頗ル多ク五羽オ得タリ。思フニ数亜種ニ区分ス
レバ出来サル事ハ無カランモ目下換羽中トテ然モ老幼ノ
差極メテ大ナル者在レバ翼長ハ標準トナシ難キハ採集家
オ以テ始メテ知ル可キ事実テ在ル。

頭高ハ漸ク此頃見ヘ始メ一ニ羽位ツ、深林ニ見出サル。

眉茶シナイハ二三羽位ツ、群レテ大森林中梢高ク飛来ス
ルオ見タリ。多カラズ。

SP NO 6 1/2 871♂ハ翼■[斑]及尾■[斑]等オ異ニシ居
リテ余ハspNO 6トハ区分ス可キ者ト考フ。

拾月四日

海岸近ク涉獵ス。未タ田ヒバリノ残り一ニ見ヘ得タリ。
余ハ嘴ノ極大ナルヒバリオ得タリ。sp NO 27 1/2 887
♂是ナリ。即チ嘴長ハ七分在リテ下嘴短ク二分五厘ノ差
在リ。色彩ハ普通大ヒバリト同様ト思ハル。

河原ヒワ 翼長三寸在リテ色彩一帯褐色部多ク腹[腹]部
ハ録[緑]色全ク無ク36 1/2♀889ナリ。下尾筒ハ淡色ニ
テ多少黄色オ帯ブ。

{小包発送}

拾月五日

ハ雨降りノ為メ出獵シ得ズ。

昨日迄ノ採集番号ハ889番トナリ種類尙百六十尙亜種ナ
リ。

拾月六日

降雨ニテ出掛ケ能ハス。標本ノ手入及東京行小包オ荷造
リセリ。哺乳類ハ六頭鳥十七羽(第十一号小包中)及卵
4、(第十二号ハ鳥八十羽入ナリ。本日迄ノ標本番号ハ
鳥の方ハ889、ナリ。哺乳類ハ28番本日九百拾七個ノ標
本ナリ。

拾月七日

朝来降雪在リ。大槻オ泊岸ニ遣シテ上記小包オ発送セシ
ム。烟草ハ品切レノ為メ閉口セリ。晴雨定マラズ困却セ
リ。余ハ岸田、黒田家及山階家ヘ書面オ出シ自家ヘハ今
日迄ノ発送品ノ照会オナセリ。山階家の方ハ今回送來ス
可キ五百円ノ他更二十一月中ニ七百円オ請求セリ。

第拾

拾月八日

本日樺太夷フクローオ得タ。蟲喰様■[斑]点ハ少ク即チ
尾端及肩ニ在ルノミニシテ其附蹠ハ決定的ニ短ク即チ式
寸前後在ル者ニ対シテ本種ハ一寸五分オ算スルニ過キズ。
渡鳥、即チ候鳥漸ク見ヘ始メ蟲喰及鶺鴒ノ類サテハツクミ
等漸クニ盛季入レル者ノ如ク。余ハ本日ハ実ニ類[数?]
多ク得タリ。降雪在リ。大槻ノ馬鹿ハ半日一ケノ小林ニ
居リテ余オ呼ヒ居タリ。

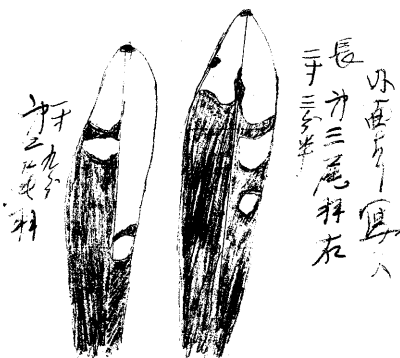
拾月九日

本朝少シク降雪在リタリ。自家及山階家ヨリハ何等ノ文書オ通ゼズ如何度せならん。十二番の送り蓋欠亡[乏]少オ来ヒシニ困却セリ。針尾雨ツバメ多数飛[翔]スルオ見真鴨幼鳥一羽オ得タリ。樺太夷雷鳥モ相当居ルラン。

NO CO 942、♀白服[腹]三指ゲラノ尾[斑]



白服[腹]三指ゲラ
脊[背]ノ白色部ハ広カラズ
腰ニハ白[斑]多数ナリ
服[腹]ニハ從[斑]在ルノミ
下尾筒ノ基部(羽色)黒色



{降雪ノ為メ渡(候鳥)鳥無し}

拾月拾壹日

昨日来ノ降雪二寸余積リテ冷キ事云ン方無シ。余等ハ新間川渡船場オ渡リテ南行スル事里余ナルモ啄木鳥オ見ズ。丁馬ハ時々見掛ケタル射ス。昨日来ノ雪ノ為メ針尾燕ヤ其他、眉白黄鶺又ハ大蟲喰等ハ南下シタル者ノ如ク唯寒林淑トシテ音無ク雪ノ解テ落下スル音ノミ聞ユ。木鼠ハ相当ニ居ル者ノ如ク至ル処ニ跡オ見タリ。国道ニ沿テ南シ始メシテ熊ケラノ音オ聞テ接近シテ漸ク一羽オ得タリ。道路ノ沿林ハ焼損木多ク茲ニ各種ノ啄木鳥集リ居レルオ見附ケ熊ケラハ三回見テ一羽ハ負傷セシメニ羽オ得タリ。三指ケラハ五羽オ得タルモ二種ナルヤ三亜種ナルヤ不明ニテ色彩ハ誠ニ混[雑]セリ。帰路草ノ中ヨリ出ダタルマキノセンニウニ射シテ得タリ。甚タ希ナルガ如シ。

拾月拾參日

大吹雪後雨トナリ出獵シ兼タリ。今日衣類ノ修覆[復]等オナセリ。

拾月拾四日

川オ渡リテ南方ノ伐木、枯損等ノ在ル区域ニ行キシテ今日ハ風余リニ強クシテ物音モ聞エス閉口セリ。漸ク赤ケ一羽オ見出セシモ逸シ風ノ為ニ其啄音オ聞キ得ス。帰路ハ142,及142 1/2ノ三指ゲラオ得タルノミ。

拾月拾五日

本日[雑]木林オ潜行セシニ大マシコニ羽オ見テ一羽オ得タリ。今一羽ハ火葉悪シキ為失中シ逸セリ。本日ギシ鳩ノ南行スルニ会セ八十哩ノ速カナル可ク見ル見ル内ニ視界ヨリ遠サカレリ。雪ノ為メ南行セシ鳥類多キモ未ダ去ラサル者ハ下記ノ如シ。

青ジ。北青地。カシラ高。爪長ホシロ。田ヒバリ
アトリ。麦マキ。ツグミ。赤服[腹]。眉茶シナイ。
キジ鳩。及留鳥各種。

拾月十六日

川オ渡リテ例ノ熊ケラ林ニ行キシモ一向見当ラズ。唯一羽居リタルモ遂ニ逸セルハ惜シ。此頃ノ木鼠ハ青皮ナラズシテ白トナリタリ。

{赤ゲラハ渡ル 植苗より書面来ル}

拾月十七日

南方及東北方ニ行キ[雑]木林ニ於テ鳩ノ一群オ見シモ接近出来ズ。シラコ鳩カキジ鳩ナルカ一向不明ナリシ。午後ハ林中オ涉リタルモ何者オモ不見小赤ケラ及小ゲラ二種オ得タリ。名寄地方ノ者トハ余程色彩異リ居ルヤニ思ハル。

拾月拾八日

本日柳河岸オ獵シ栗鼠三頭オ得タリ。

往路大毛ズオ見タルモ弾込メシ居ル内ニ逸シシメ三羽オ見タルモ一羽オ得シノミ。小湖ニ海アイサニ羽居リタル者ニ二射シテ是オ得尾長鴨オモ得タリ。啄木鳥ハ全ク是オ見ズ。樺太雷鳥一羽不意ニ松林ヨリ飛出シ直ニ松林ニ入り見失ヘタリ。此頃ハ暗朦[澹?]トシテ空ハ今ニも雪降ランカト思ハル、日ノミ続キ樺太ノ冬ハ寒ニ不愉快至極ニ思ハル。

拾月拾九日

新間へ来リシ以来啄木鳥類ニ注意シ居リシニ当時赤ゲラ

ハ全ク見ルオ得ザリシモ落葉後見ル様ニナリタリ。即チ本種ハ北

{sp153 樺太小耳ヅク}

海道ノ赤ゲラノ如ク服^{マツ}[腹]部ノ中央迄紅色オ帯ビ。服^{マツ}[腹]面ハ汚白色ナリ、無風ノ日中空オ航シテ漸ク南スルガ如ク本日ハ三羽南下スルニ会シ其二羽オ得タリ。即チ北海道ニ迄ハ渡ラザルモ南方樺太ニ行ク者ラシク海岸近キ林ニ沿テ南下シツ、在リ。

拾月廿日

本日ハ結霜強カリシ湖ヤ小河ハ結氷セリ。余ハ本日漸ク数回尋●ネシ後樺太小耳ヅクオ得タリ。色彩ハ987、普通ノ者ト多少異リ居リ。即チ頸部ノ地色ハ白カル可キニ本種ハ褐色ノ地色ニテ黄白色ノ■[斑]在リ。脊^{マツ}[背]部ノ縦■[斑]ハ太ク甚タ密ナリ。名ノ如ク耳ハ極メテ小形ニシテ翼ノ風切第二羽迄ハ先端褐色ニテ第四以下ハ灰鼠色オ帯ビ漸次第二列ニ至リテ灰色ノ先端トナル。小翼羽ハ黒褐色ニテ蟲喰様ノ小■[斑]在リテ初列風切ハ赤黄褐色淡ク先端近ク黒褐色ノ■[斑]在リテ最先端近クノ褐色ハ巾廣シ。次列風切ハ黄褐色ニ褐色■[斑]在リテヤ、密ニ黒褐色■[斑]在リ。肩羽ハ白黄地ニ褐色ノ不規則ノ■[斑]密在シ腮ハ白ク。唯胸ハ黄褐色ニテ褐色縦■[斑]在リ。脇ハ黄汚白色地ニ褐色軸■[斑]在リ。下尾筒ハ無地ナリ。翼第式羽最長三羽ニ二続キ一羽ハ四羽ヨリ長シ。尾ハ黄白地ニ褐色横■[斑]六七條在リ先端汚白ナリ

{珍鳥オ逸ス!}

拾月廿一日 雨

山階家並ニ函館ヘ書面オ出ス。

本日海岸通りニ行キシニ田ヒバ[リ]唯一羽オ見是オ得タリ。爪長セキレハ猶四五羽居リタリ。昨今迄多数ナリシアトリハ全ク影オ没シタリ。大モスオ見シ故獲ン者ト追ヘ廻ス内土人等歩ミ来リテ逸セリ。雨降りテ風出タル故帰宅セント■[雑]木林入口迄来リシニ珍ラシキ鳥四五羽柳梢高ク附キ居リタル故林の中ヨリ漸ク二十間位ニ接近シテ重ネ打セント思ヘシモ二三尺位ヅ、巨^{マツ}[距]レ居リタル故一羽丈ケオ狙ヘ打シニ地上ニ落下シタリ。残りノ鳥四羽程余ノ右方高ク飛来シ来リシ故一射セントセシテ柳ノ枝混合居リテ視線オ防ケシ内二十四五間ノ枝上ニ止マリシ一羽オ打掛ケシニ負傷シテ飛去レリ後先ニ射落シタル処ニ行キシニ如何ニ探セシモ遂ニ見当ラス。折柄雨降シキリシ故已ム無ク帰宿シタリ。

鳥ハウソノ極大形ノ者ラシク色彩翼ハ黒ク胸部ハ灰褐色、長[尾?]ハ長ク大モ[ズ?]位ノ長サ在リ。黒キ頭オ有シ尾羽ハ突尾ニテ先端ニ白■[斑]在。

{銀山マシコ七羽オ得}

{樺太大モズノ翼■[斑]}

紅服^{マツ}[腹]ウソヨリハ一増大形ノ者ニテ服^{マツ}[腹]面ハ紅色ナラサル者大サハ大モズト前後ノ大サニテ体色ハ一帯ニ黒ズミ居レリ。

拾月廿式日

昨日ノ鳥オ尋探セシモ遂ニ見当ラズ。残^{マツ}慾[念]ニ思ヘ海岸ニ至リシニ毎時一羽ヅ、ノシメオ見ル。直ニ得テ草原一体オ索シタルモ外ニ異リシ鳥オ見ズ。引返シタルニ時運良ク昨日ノ鳥ト同様ノ者遠クヨリ飛来シ五六羽柳ノ梢高ク止マリシキリニ新芽オ取喰シ居ルオ見テ林中ヨリ静ニ接近シテ遂ニ一羽オ打落シ亦一羽オ得良ク見レバ銀山マシコナリ。昨日ハ雨ニ滾^{マツ}[濡]シ[レ]シ為メ色彩濃色ニ見ヘタル者ナル可シ。大モズ(樺太)オ得タリ。♀♂共ニ第二風切ノ基部ニ白■[斑]在ルモ大雨覆ニ覆ハレテ見エズ為ニ色々ト苦心セリ。♀モ♂モ確カニ羽■[斑]在レハ普通大モズトハ全ク区分ス可キ点確實トナレリ。

{No12 泊岸発送}

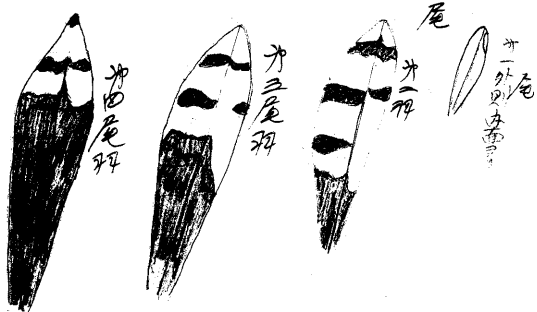
山階侯爵家ヘ送附ノ標本種類及数 25/10

大正十五年十月廿五日箱詰

No	種名	数
147	樺太フクロ	1
145	海猫鷗	1
144	ユリ鷗	1
19	熊ゲラ	5
28	木走	5
25	真鴨	1
148	銀黒羽白ヒドリガモ	1
128	大膳千鳥	1
149	針尾燕	5
129	胸黒千鳥	1
14	樺太深山カケス	1
97	樺太雀	1
6 1/2	小赤ケラ	4
53	アオジ	1
12 1/2	小ゲラ	4
22 158	赤大マシコ	2
36 1/2	大河原ヒワ	1
150	大マシコ	1
18	白セキレ	1
20	ALTAICHUS三指ゲラ	1

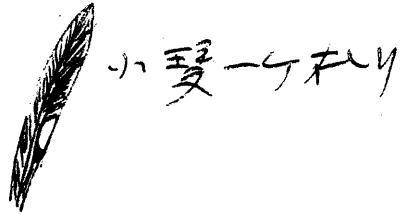
64	糞麦マキ	2
143	胸赤田ヒバリ	4
No	種名	数
69 1/2	黄鷓	2
85 1/2	大蟲喰	2
64	麦マキ	1
55 1/2	北青地	2
42	樺太ミソサバエ	2
46	田ヒバリピンズエ	1
16 1/2	北小柄	1
87	マキノセンニウ	1
11	ツグミ	5
58	眉茶シナイ	2
101	三指ケラ	1
142	胸白三指ケラ	5
142 1/2	横■[斑]三指ケラ	7
146	赤ケラ	1
93	アトリ	8
31	頭高	8
142	胸白三指ゲラ	1
20	アルタイ三指ゲラ	1
142 1/2	横■[斑]三指	1
27	大ヒバリ	1
30	ヒバリ	1
27 1/2	嘴長ヒバリ	1
55		
45		
100		

{sp NO 146号}



赤ゲラ sp NO 146♂ NO.1008

翼ノ第一風切ハ長サ一寸、小■[斑]一ヶ在リ。



第二風切羽ハ式寸七分ニシテ先端ヨリ内部ニ壹寸五分五厘ノ処ニ直茎[径]二分ノ白■[斑]及二分五厘基部ニ向テ一ヶ及二分半ノ根部ニ一ヶ在ルモ明瞭オ欠ク●。

第三羽ハ先端ヨリ壹寸壹分五厘ノ処ヨリ、漸次四白点■[斑]在リテ内弁ニハ壹寸六分ノ処ヨリ基部迄ニ四白■[斑]在リ。第四羽ハ先端外弁ヨリ七個内弁ニ四個ノ白■[斑]在リ。前額基部ノ白色部ハ北赤ケラト異リ汚白色ナリ。

{針尾燕ハ尚滞在ス}

拾月廿五日

本日少シク温カリシ故針尾燕飛翔ス。居リタリ一羽オ得タリ。

沿岸ニ至リテ山階家ヨリノ送金オ領収ス。函館宅へ五十円送金ス。

拾月廿六日

書面オ方々へ発送シテ遅ク出獵ス。奥ノ方ニテ熊ゲラー羽オ打タルモ大木ノ空洞中ニ落入リテ、已ム無ク大槻ニ鋸ニテ到[倒]サセシテ運悪シク両翼オ挽切り了リ又惜シカリシ。

co NO 1042 spNO156

四十柄

Wing 二寸四分

TL 二寸三分

F 六分

B 三分五厘

脊[背]部ノ色彩濃シ。第三尾羽ニハ白■[斑]無シ。脇ハ少シモ黄色オ帯ビズ 尾長シ。



{晩秋ノ日中蝙蝠飛翔ス}
十日廿八日ノ記
余ハ上流ノ林中深ク入り込ミシニ小形ノ蝙蝠飛翔スルオ見タリ。
昨日迄見ヘタル爪長ホジロハ見ヘス。
セキレ類ハ少シモ見エズナリヌ。
アトリノ残存セル者昨日迄見ヘ居タルモ本日ハ見エズ。
カシラ高一二羽見ヘ居リタルモ早晚去ラン。
シメハ本日一羽オ見タルノミ。
小河ノ小サキ者ハ結氷オ始ム。
田ヒハリ及其他ユキホジロハ南下セルガ如ク ツグミノ一群五六ノ者未タ林中ニ見ヘタリ。
?四十柄ハ此方面ニハ全ク少ク希ニ一回見タルノミナリシニ今日得テ左記ノ者タルオ知ル。

拾月卅日
未明ヨリ降雨在リ珍ラシキ事夜ニ入りテ雪トナレリ。余ハ出発ノ仕度ニ取り掛リ箱等オ作ラシム。

拾月卅一日
天長祝日昨夜来ノ大雨雪トナリ七八寸積ル此日小荷物等を造リ植苗ヘ小包オ送ル。

拾壹月壹日
大槻オ泊岸ヘ遣シ小包オ出ス。

植苗宅ヘ一ケ

及東京山階家ヘニケ 十三号 十■[四号]

熊ケラ6 木走五、爪長ホジロ 六
赤尾カケス九 赤マシコ壺 大ヒバリ 一
赤ウソ 一 白木回 一 ヒハリシギ 一
リス皮上九枚 縞鼠七枚
アジサシ卵十一ケ 海ガラス卵一 白セキレ卵一ケ

山階家送附標本

(第十三号) 大正拾五年十月卅一日詰 泊岸局出シ (十壹月一日発送) No14号小包中

No	種名	数
5	脊[背]黒鷗	1
154	白カモメ	1
5 1/2	脊[背]黒カモメ	2
155	大脊[背]カモメ	1
●●●38	尾長鴨	1
152	海アイサ	2
149	針尾燕	1
143	田ヒハリ	1

93	アトリ	1
12 1/2	小ゲラ	3
No	種名	数
153	小耳ヅク	1
142	白腹[腹]三指ケラ	4
156	四十柄	1
28	北木走	2
150	大赤マシコ	1
85 1/2	大蟲喰	1
14	深山カケス	2
142 1/2	横■[斑]三指ケラ	2
26	樺太大モス	2
15	ユキホジロ	7
111	銀山マシコ	7
151	シメ	6
20	ALtai三指ケラ	1
7	北赤ゲラ	1
43 1/2	小キシ鳩	1
6 1/2	小赤ゲラ	6
146	赤ゲラ	7
mm, 1615	新谷地鼠	5
	アームル谷地鼠	1
16	樺太赤鼠	1
	大トガリ鼠	2

{新聞出発}

十壹月二日馬車オ雇ヘ海岸迄荷物オ運般[搬]セシメシカ
亜[悪]道ノ為荷オ泥中ヘ転倒シ泥マミレトナリヌ。十一
時頃漸ク発動機船当別丸来ルニ会ヘ乗込ミ三時頃東知取
リニ上陸し朝日館ト云フニ宿ル。曜[翌]三日定期船以智
丸ト云千頓級ノ船午後六時頃知取オ以帆スルニ乗ル。榮
浜ニハ前八時頃上陸ス。是ヨリ前大槻オ小樽ニ歸ラシム
可ク手荷オ分ケ余一人ニテ六ケ荷オ心附ケザル可カラズ。
心配セルモ案シタヨリハ易ク金次第ニテ大阪ヤト云フニ
運バシメ午後演習林ノ中村軍良氏オ訪問シ後兼テ知合ナ
ル人ニ会テ尾張ヤト云フニ宿ル事ニ話シオ取極メテ運荷
オ馬車ニ依頼シ一式オ終リ日没頃此新宿ニ移レリ。心地
良キ室ニテ八畳間ニテストーフ取附させ薪ハ当方持ト云
ふ事ニナシタリ。新聞出発以来百円オ要シタリ樺太ノ旅
行ハ実ニ金ノ掛ル事ニハ驚ケリ。

樺太榮浜地方ノ鳥類ハ

自大正十五年十一月五日ヨリ至大正十五年十二月五日

鳥名	多少	日附
嘴細鳥	多	5/11
雀シメ	多少	"
首輪鳴	多	"
脊[背]黒鷗	中	"
白カモメ	中	"
海アイサ	多	"
スヅカモ	中	"
キンクロ羽白	中	"
丁馬	少	"
深山カケス 新	少	"
ユキホジロ	●多	"
磯シキ?	希	"
爪長セキレ	目下希	"
小柄	多	"
北日柄	多	"
頬白鴨	多	6/11
黄レンジャク	少	8/11
姫ウ	少	8/11
白鳥	少	"
シマ柄長	少	14/11
四十柄 (164)	少	"
小紅ヒワ	希	"

鳥名	多少	日附
(146 1/2) 赤ゲラ	少	13/11
黄腹[腹]赤ゲラ	希	18/11
ニウ苗雀	目下希	21/11
樺太雀	普	" / "
シマノジロ	希	22/11
大ヒバリ	目下八希	26/11
イスカ	普	25/11
大木ノ葉ヅク	希	27/11
銀山マシロ	少	1/12
嘴太赤ケラ	少	" / "
●小ヒバリ	希	4/12
星ガラス	少	25/12
八丈ツクミ	34種	2/12
大ハム		"
大脊[背]黒カモメ		"
白フクロ	希	12/12
	38種	

{柴浜附近ノ地形}

地勢北方ハ中央山脈相連ナリテ西南方ニ走り鈴谷山脈ハ

南方ニ相亘連シテ平原ハ長ク東西ニ亘リテ[狭]ク小山才起[越]エテ連ル此原及小丘ハ左程大ナル林地ハ無ク原ハ大低[抵][灌]木[雑]木等処々ニ在リテ小ナル谷湿地ハ[榛]等才生シ他ハ大低[抵]草原ナリ。海岸線ハ割合ニ浜地広ク此間北方ニ向ヘバ湖水ノ小ナル者連リテ水鳥ノ好個ノ場処タリ。苔類ノ生ゼル処及草原ハ海浜ニ在リテ奥ノ方ノ平原ハ大低[抵][雑]木林地ナリ。春夏ノ候草ノ鳥ノ多数ノ種ノ来ル可ク想像サル、処ナリ。

拾壹月五日

余ハ東北方才指シテ進ミシニ折悪シク降雨在リテ後雪ト変[リ]衣ハ為メニ全ク滾[濡]ヌ処トテハ無カリシ。余ハ一里位進ミテ沼ト海岸トノ中間ニ至リシニ多数ノ爪長雪ホシロオ見テ其七羽オ打タリ。此頃未夕色彩ハ変ラス春季ノ白色トノ中間ナリ。

カケスハ1046♂ハ北方産ノ者トハ全ク色彩オ異ニシ居ルヤニ思フ。鹿其[斑]点ノ処在ハ内方ニ属ス。尾ノ[斑]ハ全ク無シ。長サモ少シク大ニシテ量三十八匁在リ。

十一月六日

雪降北風ニテ余ハ頬白鴨二羽オ得シモ一羽

{新谷地鼠ハ柴浜ニモ在リ}

ハ葭間水深クシテ得ズ。此日昨日来ノ雪ホジロオ獲シ者ト思ヘシニ一羽モ見エサリシ鼠ノ穴及跡ハ少シク海岸ニ見ヘタリ。

十月十日

本日北方ノ小河オ涉リテ落葉松林ニ入りシニ処々ニ啄木鳥ノ啄キシ跡居リシモ一羽モ見サリシ。海岸ニハ多クノユキホジロ在リタルモ接近シ得ズ。遂ニ逸セシハ遺憾ナリ。此日無風ニテ好天気ナリシモ他ノ鳥ハ丁馬一羽オ見シノミナリ。

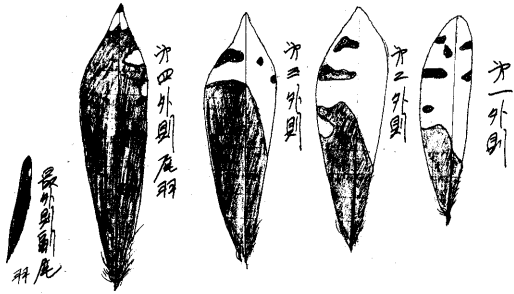
十一月十一日

本日罨ニ行キシニ毎日ノ如ク他ノ鼠ニ抛リテ先ニ罨リシ鼠ハ喰ハレ居リ本日モ参頭共大破シテ用ニ立タス。新種谷地鼠ハ参頭丈ケオ製作ス。新聞ノ者ヨリハ尾幾分長キヤニ思ハルモ大体ニ於テ一致シテ頭骨等ハ小ナリ。Mikadaニ近キ一亜種ナリ。此者ハ参頭共頭骨破損シテ困却セリ。本日ニテ全部ニテ十頭ニ違セルハ誠ニ幸運ナリ。

十一月十二日 白フクロ翼長ハ一尺四寸在

白フクロ一オ得タリ。及、大白カモメオ得大形ニテ翼ハ先端ノミ純白ニテ一尺六寸以上ナリ。

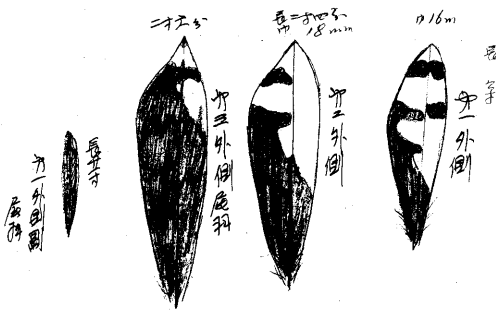
{sp NO146 1/2 赤ゲラ NO1041062}♂
翼ノ白■[斑]ハ大低[抵]sp146ニ似タリ。顔ハ北赤ケラ
ト赤ケラトノ中間ノ色彩ニテ喉及脇ハ汚白色ニテ尾ハ中
央二枚丈ケ黒色ナルノミ。



13 th Nov.1926 SakaiHama

上尾筒ニハ処々ニ白■[斑]在リ。
肩羽ハ純白色ナリ。
嘴ハ上方slateニテ下嘴ハ灰白ナリ。
尾羽ノ先端ハ著シク黄染ス。

{sp NO165 黄腹[腹]赤ゲラノ尾羽}



Wi四寸五分
TL二寸八分
F七分
B一寸〇五厘
全長八寸五分
重量廿一匁
SP NO 165 NO1078♂ 18 th NOV 1926

拾一月拾九日
本朝出獵セントスル処へ横岡久次郎君ノ家内心臓麻[痺]
ノ為メ死亡セル故山行中止シテ戸籍の方届出テ火葬ノ許
下[可]才取り与ヘル等一日何モ出来ズ。黒田家ヨリ書面
来ル汎太平洋学術会議ノ為メ先ニ送附致し置キシ標本並
ニ新種鹿ノ一種オモ録々実見セサリシ由ニテ其如何ナル
種ナルヤ報告無シ。

拾壹月廿日
横岡ノ葬式ニテ何モ出来ス。本朝大モズオ見タリ。

拾壹月廿二日
本日久々ニテ出獵セシニ家雀ノ中ニニウ苗雀ノ混シ居リ。
燕麦畑ノ空地ニ落ち居ル実オ拾へ居リタルオ一射二種ノ
雀オ得タル訳ナリ。即チ入苗ノ方ハ赤栗色極メテ濃厚ニ
テ眉■[斑]ハバフyellowナリ。樺太雀ノ方ハ翼長何処ノ
物モ平均シテ三四ミリ短シ。

拾壹月廿三日
東京山階家ヨリ書面到来ス。三指ゲラハ一種の由是ニ扱
レバ大モズモ一亜種ナル可シ。
色々仕度オシテ明日ハ南方採集地視察の筈ナリ。

{大泊方面視察}

大正拾五年拾壹月廿四日
前拾壹時出発ノ汽[車]ニ搭乗シ大泊方面ニ向フ。此間数
多ノ停車場在リテ四時間オ要ス。内地ノ急行車ナレバ約
二時間ニシテ達シ得可キ巨[距離]ナリ。

山脈ハ中央山脈ハ遠ク西北ニ連リテ鈴谷山脈ハ南東ニ在
リテ此間広キ処ハ三里以上近キモ二里位在リテ夙ント平
坦ナリ。河沿ニハ至ル処ニ柳■[榛]及白樺茂リテ林地オ
ナシ河沿岸ハ割合ニ木ハ丈高く其他ハ細クシテ■[雑]樹
林多ク豊原以南鈴谷川沿ニハ相当ニ■[雑]木林オ見ル。
海岸近ク貝塚駅方面ハ是等ノ■[雑]木ト針葉樹林ト混生
シ居リテ柴浜ヨリ大泊ニ至ル間ハ夙ント南方ニハ大樹皆
ト云フ可ク然シテ平坦地ヨリ山地ノ大樹林地迄ハ近クモ
三里以上在リテ密林ニ棲息スル鳥類オ採集スルニハ不便
ナルモ是ヨリ樺太ハ(雀科)ノ各未採集ノ鳥類及(イス
カ)及(ハギマシコ)其他ハ此平原中ノ密林ニ集合スル
ナル可ク考ラル海鳥ハ遠ク留多加方面便利ナラント思ハ
レシモ同地ハ山林迄約二里オ行カサル可カラザル不便在
リテ何レトモ採集地撰[選]定上ニ都合好キ処無ク困難セ
リ。

{中里駅}

中里ハ鈴谷河オ西方一里ニテ達シ得リ。二里ニシテ海岸
ニ達シ得可ク南方ハ小ナル■[雑]木林相当ニ在ルモ山●
ハ一里位ニテ達シ得可キモ夙ント大樹無シ。西方ハ鈴谷
川沿ニハ柳■[榛]及白樺、針葉樹林等在リテ此間村落ノ
近クニハ牧場在リテ村ノ戸数約百戸位モ在ラン。海岸ニ
至ルニハ少シク不便オ免カレズ。然シ越冬地トシテハ静
カニテ宜シカラン。旅館ハ三軒程在ルモ皆小ナル家ニテ

採集標本置場ニハ困却ナル可シ。

{大崎運送店旅館 大黒や}

新場駅

新場ハ留多加方面行南樺鉄道ノ基点ニテ茲ヨリ乗り替ル
処ナルモ未タ連絡切符ハ発シ居ラズ。駅ノ附近ニハ南樺
旅館ト云フ一軒ナル可シ。貝塚駅ハ海岸ニ面シ十二月中
ハ海鳥オモ獵シ得可モ結氷後ハ中里方面ニ出張セサル可
カラザルノ不便在リテ且つ平原ニ来ル可キ鳥類ノ一部ハ
此地ニハ見ル能ハザル者在ル可ク且後方(東南)ニハ林地
少ク処々ニ小山ノ間ニ稚樹在ルノミナリ。

鳥ハ少ク

海岸ニハカイツブリ氷鴨羽白及カモメ、大ハ

{大雲雀尚残留ス}

ム等オ見受ケ亦黒^ツ[雁]ハ五六飛翔スルオ見タリ。陸鳥
ハ赤ケラチヨケンボ及中形ノ銀山マシコ位ノ鳥ニテ松ノ
梢ニ止リ居リシ者並ニ一ノ沢駅近クニハ爪長ホジロ?ト
思ハル、者海岸近クノ空地ニ居リテ汽笛ニ驚テ飛ヒ去リ
シ者在リテ雀及鳥ハ多数ニ見ラル。大泊ヨリ以北ハ鈴谷
平原ハ牧場多ク農地ハ極テ少シ夏季ハウヅラモ相当ニ居
ル由聞及びタリ。

拾一月廿六日 大雲雀尚残留セリ

本日雨模様ニテ暖気ナリシ余ハ方々涉獵シタルモ珍鳥無
シ。空シク帰ル。

山階家へハ近日中里へ引移ル旨報告ス。

拾[一]月卅日迄

以来毎日ノ瀑風雨ニテ出獵シ兼ネ殊ニ余ハ腸オ痛メテ例
へ好天気ナリトモ出獵出来ザリシ。

拾^ツ卷[二]月一日

本日南方ノ小山オ越テ^ツ[雑]木林ニ^ツ[趣]キシテ種々小
鳥オ見タリ。銀山マシコ及大嘴赤ケラ?オ得タリ。翼長
四寸八分在リテ尾長三寸一分在リ。嘴ハ短キモ太ク附[蹠]
モ亦八分ノ長サ在リ本日

{白セキレハ冬ハ此方面ニ無シ}

山階家ヨリ赤マシコ及大マシコノ件ニ就キ申シ越サル。
赤マシコハ翼長八十七mm以下ノ小形ノ者ナリト。先ニ
送付セシ名寄ノ六羽ハ確ナルモ新問ヨリノ分ハ皆
spNO150ナリト。

小ヒバリ?

拾二月三日

降雪中トラツプオ収納ス可ク^ツ[趣]キシニ小ヒバリオ得
附蹠小ニシテ後爪モ少サク短ク二分在ルノミ。翼長八二
寸九分尾二寸嘴峯四分弱在ルノミ。sp NO 170,1096,ナリ。
学名ハCalandrella Brachydactyla dukhunensis中央
亜細亞ノ原産種ナリ。

山階家送附標本

大正十五年十二月四日 栄浜局

第十五号小包

NO161	大ハム	1
(154)	白カモメ	2
125	白フクロ	1
155	大脊 ^ツ [背]黒カモメ	2
	頬白カモ(158)	1
152	海アイサ	1

第十六号

146	赤ケラ	1
165	バフ赤ケラ	1
169	大形赤ケラ	1
146 1/2	赤ケラ	2
169	氷鴨	1
12 1/2	北小ゲラ	1
151	シメ	1
97	スゞメ	1
56	入苗雀	1
167	白腹 ^ツ [腹]エスカ	4
166	シマノジコ	1
163	小紅ヒワ	2
102	?浜シギ	2
160	黄レン雀	4
24	シマ柄長	7
133	白額木回	3
2 1/2	北日柄	1
164	小四十柄	2
156	黒腹 ^ツ [腹]四十柄	3
162	八丈ツグミ	1
157	尾黒カケス	2
170	小雲雀	1
	及大木ノ葉ヅク	1

第十六号中哺乳類

NO、5	トガリ鼠	3
8	大耳トガリ鼠	3
17	大足トガリ鼠	3
18	夷谷地鼠	1

15	白足谷地鼠	4
15 1/2	黒足谷地鼠	3
16	赤鼠	4
		≈21

{中里着 木鼓キ棲ム}

拾貳月五日

早朝来荷造二忙シク遠藤亀三郎君ニ荷物才運バシメ停車場ニ至リシ時既ニ敗[破?]れシ居リ。加フルニツリ錢無シトテ中々ニ切符売テ呉ヌ故困リタリ。漸ク切符才買入テ手荷三ヶオ預ケシニ早ヤ発車セントシ居リタリ為ニ手荷ハ次便ニテ運般[搬]スル事トナリ。余ノ中里ニ着セシハ十一時頃ナリシ漸ク数ヶノ荷物才待合ニ残シ置キ宿舍本多松太郎方ニ至リ引返シ本ヤ其他机等才取りニ引返シタルニ室ハ中々仕度出来ズ三時頃漸クストーフオ取付ケ終リ又六畳ノ間故狭クシテ荷才置ケ能ハザル位ナリ。押入ハ在レトモ布団テ一充ナリ。食事モ榮浜ノ尾張やヨリハ甚タ悪シク貧弱ナルモ折角来リシ事故我慢スル考ナリ。是テ一ヶ月彼は八十円トハ全ク高価ナリ。

木鼓ハ遠藤亀三郎ノ話シニ依レバ昨年東白浦ノ山奥ニテ一群六羽ニ出会セシ由ニテ一羽オ射撃セシモ一時地上ニ落下セシモ負傷浅キ為メ遂ニ飛去ヘル由ナリ。鳴声ハ飛翔中ハ鳴カザルモ木ニ止マリシ時ハ連絡才保ツ為メニ♀オ呼ブカ又ハ仔雛オ呼

{木鼓ノ卵 真[雁]ノ卵}

フ、其音丁度蛙ノ鳴クニ似テコロ、コロ、オ続ケ彼ノ非常ニ高音響才発スルガラガラト聞ユル鼓声ハ彼ハ多分♂オ呼♀オ呼フカノ音ニシテ必スシモ啄蟲ノ鼓音ニハ非ス。尚富内湖畔ニテ昨春♂♀ニ羽オ巢穴ヨリ網オ以テ捕ヘシハ在リテ此人ノ話シニ依レバ♀ハ頭部ハ全ク赤色無キ由ニテ卵ハ淡キ灰録[緑]色ニテ褐色ノ小ニ[斑]密在スル由ニテ其時ハ一巢四ヶ在リタル由ナリ。確かニ棲息ス。

鷹ハ登帆ノ奥々ニ河畔ノ草中ヨリ見出し直ニ母鳥オ捕ヘ巢ヨリ引出セシニ卵在リテ五ヶ在リシ由ナリ。卵ハ少シク木褐色オ帯ヒテ鷄ヨリハ大ナル由果シテ真鷹リシヤ。尤モ本人ノ話シニハ胸腹[腹]ニハ黒褐色ノ横ニ[斑]在リシ由ナリ。鶯ハ普通鳥類ノ如クカヤ巢才造ラズシテ造レル者オ見シ由ニテ保呂ノ奥ナリシ由。卵ハ小豆色ナラズシテセピア色ニ褐色細ニ[斑]在リシ由ナリ。先ニ名寄方面ニ取りシ四ヶノ標本ハ確かニ一亜種トス可キ者ナル可ク思ハル。

{樺太中里地方獸類}

大正十五年十二月六日

鈴谷川沿上流ニ向フ。両沿岸ハ柳ニ[榛]、赤タモ及樺太落葉松及少シクニ[夷]松オモ生セリ。白樺ハ小ナルモ此間至ル処ニ密林オナセリノ35表ニ在リ。

獸トシテハ兔多ク狐モ処々ニ足跡オ見ラル。

黒狐モ居ル由モ、ンガハ多少居ル由ナリ。

小夷鼬ハ少キモ居ル由ナリ。

鈴谷川ハ曲リ甚シク巾ハ広カラズ。広キ処モ參十間才越エズ。

赤ゲラハ尾葉第四対迄ハニ[斑]在リテ中央ノミ黒無地ナリ、副小尾羽ハ黒色無地ナリ。第二列風切羽ハ内外弁共ニ各五ニ[斑]点在リテ先端ニ近クニニ[斑]在リ。第一風切ハ三白点在リテ他ノ赤ゲラニハ見ザル処ナリ。

拾貳月七日

西南方鉄道線路ニ沿テ南下シタルニ右方ハ密林ニテ左方ハ小山相連ナリテ此ノ間小溪多数在リテ小ニ[雜]木茂リテ処々ニ針葉樹ノ残木在リテ兔狐ノ足跡多数在リキ。

新場駅ヨリ右曲シテ南樺鉄道線路ニ沿テ進ム。

里、中野橋ニ至リテ左折シテ海岸ニ向フ。小川有リテ進ミ兼国道オ新場ニ引返シ林中ノ進行実ニ容易ナラズ。折柄雪降りテ、足跡才埋ム。

中里方面鳥類実見表

大正十五年十二月六日自至昭和貳年三月 日

鳥名	多少	月日
樺太雀	多	6/12
嘴細鳥	多	"
夷小柄	多	"
日柄	少	"
木回 (五十柄)	少	"
SPNO146? 赤ケラ	少	"
樺太深山カラス	少	"
星ガラス	少	"
赤マシコ Wi84mm	少	7/12
樺太深山カケス	少	7/12
小紅ヒワ	少	8/12
銀山マシコ	少	13/12
小赤ゲラ	少	"
ノスリ鷹	希	"
大赤ゲラ	希	15/12
夫タカ	希	"
熊ケラ	希	"
大鷹	希	17/12
三指ゲラ	少	18/12

隼	希	18/1
金眼フクロ	希	●29/1
毛足シマフクロ	希	24/12及4/3
鳥名	多少	月日
大ワシ	少	17/12
昭和二年一月中		
樺太夷フクロ	少	1/2
赤ウソ	少	7/2
北木走り	少	25/1
樺太ミソサバエ	希	●9/2
尾白ワシ	少	21/1
ユキホシロ	多	8/2
四十柄	希	20/2
大モズ	希	22/2
シマ柄長	多	常二
海ガラス	多	13/3
嘴細海ガラス	少	15/3
水鴨	多	/2
河アイサ	多	16/3
羽白	多	" "
北小啄木	希	23/3
姫ウ	多	15/3

{小紅ヒワノ色彩}

樺太ノ原野採集ノ仕度ハ

冬季ノ野外進行ハ積雪後ハ海彪ノ皮才張りタル。巾広キ短スキハ尤モ敵[適]当ト認ム。降雪中ハ藪中ノ進行ハ実ニ容易ナラズシテ第一衣類ハ皆純毛製ナル可ク然シテ足ニ着クル者ハ是亦ゴム靴ニテハ凍傷ニ会フ可ク先づ純毛製ノ丈夫ナル上ズボンオ第一トシ足巻ハ毛布尤モ佳ニシテ藪靴最上トス。何分冬季中ノ活動ハ実ニ易カラサルナリ。

拾貳月八日

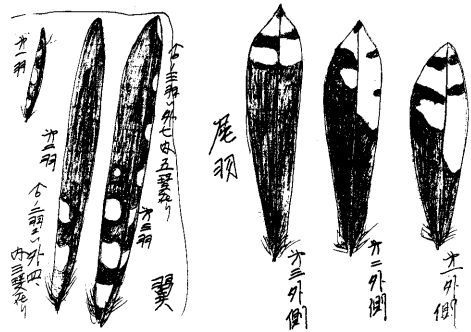
夜来ノ降雪今朝来尚降りツ、在リタル。前八時出獵ス。山ニ[麓]ノ涯下ノ枯赤口ノ実及河原ヨモギノ実才食シツ、在ル。小紅ヒワノ一郡[群]才発見シテ直ニ一射二羽次射一羽才得タルモ残り六七羽ハ林中深ク逸シ去リタリ。此者ハ1099及1101迄ノ三標本ナリ。翼長ハ二寸三分及二寸三分五厘ハ最長ナリ。♂ノ色彩ハ頬ニ暗紅色(淡ク)ノ部在リテ腹[腹]部白色ナルモ少シク紅色才帯フ。♀ハ頭上ノミ紅色ナリ。降雪ノ為メ草ノ上ニ雪積リテ長靴ノ中ニ入りテ頗ル歩行困難ニシテ冬季ハ藪靴ニ毛布ノ上着

ズボンオ第一トス可ク如何ナル処ニモ突入スルオ得可ク藪及草間ノ深キ処ハ是ニ限ルト思ハル。余ハ時間ト天候ノ都合オ考ヘ明日?又ハ明後日大泊ニ趣[赴]ニ散弾及衣類其他ノ用品才買フ筈ニシタリ。

拾貳月十三日

奥ノ方二里余ニシニ豊南、富内間ノ道路ニ合スル地点迄行ク。此附近ハ皆焼山ニテ枯木処々ニ点在スルノミニテ林地ハ極メテ少ク唯谷間ニ[雑]木ノ少シク茂レル処在ルノミ。此日帰路兔及銀山マシコ五六羽才見タリ。シンコ松ノ芽才食シ居タリ。

NO1107♀ sp171朝鮮大赤ゲラ



拾貳月十五日

本朝山階家へ採集ノ標本ハ甚タ少ナル可キオ報ズ。東方二里ノ沢ニ於テ熊ケラニ二射シタルルモ得ズ。巨[距]離余リニ遠カリシ為ナリ。大赤ケラオ得タリ。肩ノ白[斑] (前項) ハ大ナル者ナリ。小紅ヒワ十羽程才見タルモ三羽才得タリ。

拾貳月十七日

東方二里ノ地点ニトラップオ置ク。希ニ大赤ゲラオ見ル。少シ此頃ハ大北北海道方面ノ氣候ト大差無キモ大[太]陽ハ南東ヨリ出テ南西ニ入ル角度●正午ニハ約四十度位?

拾貳月十八日

雀ハ樺太産ノ物ハ一般ニ翼長短ク約二寸三分才出ル者無シ少サシ。

地鼠才得タリ。他ハ大抵[抵]トラップ居タルモ皆他ノ鼠ニヨリ喰ハル。

拾貳月廿五日

昨日シマフクロラシキ大形ノ者才得タリ。是ハ趾迄羽毛密生シ居リテ眼ハ橙黄色ナリ。

本日大泊ニ行キシニ天皇陛下崩御ノ由ニテ元号才照[昭]和ト御既[改]元アリタリ。

拾貳月廿七日

本日山階家ヨリ採集期間延期ニ就テ交渉来ル。五月末日迄ノ事ナリ。余ハ大約承知ナリシモ本夜鳥類オ計算セシニ未定数ニ達セザル者及今後採集ス可キ者ハ記録ニヨリ尙百三十八種在ルオ知レリ。大約多少ノ経費ノ生レル可キカ。

照[昭]和貳年一月一日

山階家へ延期ニ就キ交渉の返事を出ス。

若松、小林桂助氏、植苗、遠藤亀三郎及散江村ノ安保、野頃ノ古木ト河野へ書を出ス。降雪在リ午後二時ニ至ルモ尚止マズ。

尙月八日

東風強ク朝降雨在リテ後雪トナリ。割合ニ暖ク余ハ山鳥（松）四羽及熊ケラオ得今日鼠ノトラップ全部オ納メテ引揚ケタリ。松鷄四羽ハ若松氏ニ贈進ス。雪ハ未タ深カラズ。尙尺五寸位ナリ。

{小林桂助氏ノ方差引送金

北海道産ノ鳥及卵ノ代金ト大正十五年中借用ノ分}

尙月拾壹日

山階家ヨリ書留来ル。貝塚ニテ参百円領収ノ卷封入シ在リ。若松氏ハ最近上京ノ由ニテ御殿場方面ニテ鶉獵オ試ミラレ家兄ハ丈才俱し先行スル由、本日ハ吹雪ニテ午前中ハ出働シタルモ一鳥オ見ズ帰ル。

□小林氏ノ分¥200、の内17.3標本代及

¥67.90、鳥卵代金合計金八拾五円也

差引送金ハ尙百拾五円也

照[昭]和二年尙月十六日

昨日来非常ノ寒氣ニテ令[零]以下廿度ニシテストーフオ燃燒シツ、在ル。余ノ室内ニテモ隅ノ方ハ薬品及化粧品ハ結氷セルオ見タリ。本日休獵ス。本日侘リニ全部ノ者オ計算シタルニ~~3360~~3,663,50円余トナレリ。

十八日ハ吹雪強シ

尙月十九日 休ム

本日黒田家及岸田氏へ書面オ出シ利尻及礼文ノ既採集ナルヤ否ヤオ照会ス。

{小形フクロ}

照[昭]和貳年二月三日

寒氣甚シ0下廿七度ナリ。鈴谷河沿ノ森林中オ涉獵スレ

トモ一向好鳥オ見ズ。

二月四日

東方二里半程ノ処ニ最[赴]キ夷馳ノ盛ニ歩キ回リシ足跡オ見テ帰路中形ノフクロオ見テニ射シタルモ何分巨[距離]遠クシテ致命傷オ与ヘ得ス。逸セシハ千歳ノ恨事ナリ。翼長ハ八寸位ノ小形ノ者ナリシモ普通フクロヨリハ遙ニ小形ニテ耳ヅクニ非ス。新シキ種類ト思ハル。頭ハ丸形ニシテ耳無シ。色彩ハフクロニ似タルモ多少黄褐色オ帯ヒ服[腹]部ハ灰褐色ニテ■[斑]点著シカラズ。

二月六日

本日臬オ二回見テ失シタリ。銀山マシコ五六羽ノ群オ見タリ。此鳥ハ田母ノ木ノ実オモ食シ居レリ。其他白揚ノ芽ノモ食ス。○令[零]下廿七度。

二月七日

南方原野ニハ狐ノ足跡多シ。余ハ一日涉獵シタルモ一向ニ珍鳥ニ出会セズ。此日赤ウソ三羽オ見タリ。♂胸部紅色ナリシ。

{夷フクロト樺太夷フクロ}

二月十四日樺太野外観察誌送ル。

貳月拾四日

本日前定期船漸ク入泊ス。結氷ノ為メ遅延ス。山階家ヨリ書面在リ。侯爵ハ鹿嶋市谷山嶋津別邸ニ病氣保養ノ由一月廿一日発送ノ標本ハ全部其ま、東京本邸ヨリ差回サレシ由ナリ。

紅ヒワハ従前ノ者ハ紅ヒワナリ小紅ヒワニ非ス。赤ケラ数種ノ中間種ハ皆北赤ケラニ属スル由。〃[赤ケラ]ハ嘴太赤ケラノ由ナリ。

参考ノ為メ自家ヨリ取り寄セタル夷フクロ一ハ樺太産ト比シ色彩ハ北海道産ノ者ハ寧口服[腹]部ノ中央以上甚ダ淡クシテ黄白ニ近キモ樺太産ハ褐色■[斑]現著ナリ。附蹠ハ北海道産ハ少短ニシテ爪ハ小形且短シ脊[背]面ノ色彩ハ大約大同小異ナリ。

翼長	尾長	附蹠	嘴長
北海産♂ 尙尺一分	〃 八寸五分	〃 一寸二分半	〃 尙寸一分半
〃 〃 ♀ 尙尺	〃 七寸八分	{前} 〃 尙寸三分	〃 尙拾分半
樺太産 〃 尙尺五分	〃 八寸	〃 尙寸五分	〃 尙寸三分
爪ノ長サ	中趾長サ		
北海道産♂ 〃 七分	〃 九分五厘		
〃 〃 〃 ♀ 〃 六分五厘	〃 九分五厘		
樺太産 〃 八分二厘	〃 尙寸三分		

{ユキホジロト四十柄}

尾羽ノ色彩ハ樺太産ニ在リテハ横^ニ[斑] (中央2枚) ハ佳ナリ明瞭ナルニ北海産ハ唯蟲喰様^ニ[斑]オ現ハシ横^ニ[斑]ハ明瞭ナラス (在ルモ)。

顔盤ハ樺太産ハ毛荒ク軸^ニ[斑]ノ褐色濃ク長シ北海産ハ灰白ニシテ淡色。北海道産ノ♀ハ腮喉 呈淡黄褐色ニテ余程淡シ其♂ハ樺太産ニ此部似ルモ先端ノ白色部ハ長ク (首輪) ノ内ノ横褐^ニ[斑]著ニシテ数横條在リ。

式月拾七日 拾六日

非常ノ寒氣ト吹雪甚シク出獵シ兼タリ。

式月^マ二十^マ日

柳原要二氏ヨリ書面来ル。自家ヨリ先ニ一昨年、農林省農務局調査室ヘ納入ノ代金請求書差出ス様申起セシモ明細表無カリシ故ニ自家ヨリ廻送セシメ本日着セリ。四十柄才見タリ。

二月十八日

此程ノ大吹雪ノ為メ広原ノ林中ノ草原ニユキホジロオ三十羽程見タリ。

式月廿日

農務局鳥獸調査室ニ宛テ標本代金請求ス。

式月廿四日

昨日毘才置キタリ。是レ農ム局ヘ寄贈ス可キ小哺乳類才得ンガ為メナリ。

本日野頃村古木鉄太郎ヨリ梟及麝香鹿捕獲セシ由報シ来ル。

式月廿五日

山階家ヘ旅費二百円請求ス。自家及、古木ヘ返事才出シ兵庫六甲ノ小林桂助ヘ書面才出ス。本年度ノ卵採集ノ件ニ就キ希望見込等才申送ル。

参月五日

山階家ヨリノ照会ニ対シテ渡来ノ鳥類採集ノ見込無キ事才報シ及ビ尅、二月中ニ目撃セル鳥類才報告ス。

参月四日

奥ノ方二里半ノ地点ニ貂ノ足跡才発見シ追ヘ居ル内毛足

シマフクロオ見テ一射シタルモ得サリシ。

{三月中ノ氣候}

三月ニ入りテ以来割合ニ暖ク好天氣続キニテ時々北風強ク吹クモ左程困難ノ事無ク唯朝夕ハ相当ニ冷氣トナルモ左程感スルニハ非ス。北海道ト大差無キモ唯一二月中ハ中々ニ寒冷ノ日打続クガ異レリ。雪ハ既ニ此ニ三日以前ヨリ日中ニハ解クル様ニナレリ。

三月六日披^マ[疲]勞ノ為メ休ム。

三月九日

本日ヨリ大風雪トナリ十日及十一日ハ出獵シ兼タリ。横岡久次郎君ヨリ電報在リタリ。

三月十三日

大吹雪ノ後ナリシ故出獵セシニ林中ニテ海ガラスオ得タリ。此日♂ノ熊ゲラオ得タリ。

三月十五日

横岡久次郎君来訪ス。出獵オ見合セテ毛皮ノ打合オナセリ。此日貝塚ノ駐在巡查来リ嘴細海ガラスオ打[持?]参セリ。

三月十五日

黒田家ヨリ今迄ノ標本代金全部送り来ル。

三月十六日

貝塚ノ海ニ冰鴨オ得タリ。

三月十八日

大吹雪ニテ出獵シ兼タリ。

三月十九日

新場ノ上ニ行キ紅ヒワオ見タリ。本日モ吹雪セリ。

三月廿日

山階家ヘ先ニ発送セシ書類ニ就通知来ラズ。為ニ照会シ並ニ二月廿五日附ニテ旅費請求セシモ書面一本モ来ラズ。昨十九日ニハ内地便入港 (大泊) セルニ山階家ノ書面ハ一通モ参ラズ。横岡久二郎君ヨリ納(野)寒村産貂ノ頭骨ニケ送り来レリ。一ハ♀ラシ。

三月廿二日

本日東方奥地ニテ大赤ケラオ得タリ。

三月廿三日
本日鈴谷川才越テ行キシニ珍ラシクモ小ケラオ見直ニ得
タリ。山階家ヨリ旅費200¥オ送リ来ル。

三月廿六日
貝塚ニ出テ山階家ヨリノ為替金式百円受取ル。小包オ発
送ス。

降雪在リシモ暖カナリシ。
此頃漸ク啄木鳥類移動スルオ見タリ。昨日ハ熊ゲラ三指
ケラ等オ見、本日ハ新場ノ曲リ角ニテ線路ニ居リタル紅
ヒワ二十羽程オ見タリ。中ニハ胸部モ紅色オ帯ビシ者モ
在リテ割合ニ翼ハ白味掛リ居タリ。海岸ハ結氷全ク破レ
潮流ニ流サレテ湖(貝塚)ノ附近丈ケ少シク残り居レリ。

三月廿七日
獵者三名同伴シテ新場ノ上迄行キシニ一向鳥オ見ザリシ。

{1927年初渡来ノ候鳥}

三月廿八日
午後四時十六分中里出發シ一切ノ荷物オ^マメテ預ケ入レ
トランク及ハスケットト銃ノミオ持テリ。本夜乗込ミト
ナル筈ノ連絡船ハ五時半頃入港セルオ以テ遂ニ一日オ遅
延シテ廿九日夜乗込ム事トナレリ。不便此ノ上無シ。内
地ナレバ一昼夜ニシテ達シ得可キ処四日間以上オ要スル
訳ナリ。大泊町海岸ノ[㊦]新湊屋ト云フニ宿ル。

三月卅一日
午後一時自宅ニ帰着セリ。
採集費用ハ金參千四百九十二円十四銭を費セリ。黒田侯
爵家及山階侯爵家へ免状返送ハ四月一日書留便ニテ沼ノ
端局ヨリ出ス。

三月卅一日迄
稚内ヨリ南下ノ途雪中ニ初メテ見得タルハ大ムク鳥ニシ
テ其ヨリ南方ニ至リシニ海岸近キ処ニハ雪ノ消シ空地在
リ一ニ羽ヅ、ノ雲雀オ見タルモ果シテ大ヒバリカ何レカ
ハ不明ナリシ。南下シテ岩見沢近ク来リシニ多数ノ椋鳥
及雪雀オ至ル処ニ見受タリ。名寄以北ニハ樹木ハ相当ニ
見当リ啄木鳥類オモ時々見タリト。

樺太産鳥獸ニ就テ索引

種名	項数
北青地(黄)	97
北小啄木ノ翼尾	99
海ネコ及金黒羽白	102

胸赤田ヒバリ	101
大蟲喰ノ翼	101
ユリ鴉	101
白服 ^マ [腹]三指ケラノ尾(142)	107
sp142同上ノ羽 ^マ [斑]	100
樺太大モズノ翼 ^マ [斑]	113
赤ゲラ(146) ^マ [斑]紋	115
赤ゲラ146 1/2ノ尾羽	124
赤マシコニ就テ	130
小ヒバリ sp170	130
木鼓ハ樺太ニ在リ	132
^マ 厩 ^マ [雁]及鶯ノ卵	133
中里地ノ鳥類表	135
栄浜地方ノ鳥類表	121
新間地方ノ鳥類表	97
散江地方ノ鳥類表	44及67
床呂方面ノ鳥類表	78
北知床方面鳥類表	54
嶋及千鳥類ノ渡来ニ付	66
小紅ヒワノ色彩	136
sp NO 171大赤ケラ	137
夷フクロト樺太夷フクロ	142
樺太産鳥獸ニ就テ精査索引表	
種名	項数
赤ウソノ生殖器	4及22
白服 ^マ [腹]木回(ノ雛ト巢)	5(40)
北日柄	5
小赤ゲラ	6
北赤ゲラ	6
樺太大赤ゲラ	6
ヘンソン柄	8
ツグミ	8
北小ゲラ	8
樺太夷山鳥	9
ユキホジロ	10
北小柄	11
熊ケラノ♀	13
三指ケラP.T.Altinaeus	14, 15
樺太深山カケス	16, 17
樺太大モズ	19
大ヒバリ	20
北木走	21
散江ヨリ北知床迄ノ鳥	54

雲雀ノ南去ニ就	9 4
ミサゴ	9 4
盜賊鴟	9 4
種名	項数
菱喰(嘴太)ノ渡来	9 3
小チヨゲンボ	9 3
爪長ホジロ	9 2
樺太深山カケスハ	9 2
大モズニ就テ	9 2
銀山マシコ	9 1
大膳千鳥	9 1
鎌羽雷鳥ノ区域ハ	9 1
赤モズ	9 0
樺太田ヒバリ	9 0
大蟲喰	9 0
田シギの今昔	9 0
尾長フクロ	8 9
散江地方ノ鳥ノ目録	8 8
樺太青足シキノ足	8 6
床呂十日間ノ見鳥	7 8
樺太三指啄木	7 5
床呂湖畔行ノ記事	7 3
夷蟲食ノ翼ノ差	7 2
樺太雷鳥ニ就テ	6 9
大ライ鳥ハ	9 9
鷓類ノ渡来期	6 6
黄鷓ノ卵	6 9

樺太敷香郡泊岸村新問
旅館 三上栄助
樺太大泊郡千歳村中里
本多松次郎

謝辞

本研究を進めるにあたり、(財)野鳥の会の大畑孝二氏、揚妻(柳原)芳美氏、および苫小牧市立中央図書館の館員の皆様には文献の提供及び資料の閲覧等で多大なご協力をいただきました。記して感謝申し上げます。

参考文献

- 揚妻芳美 2005. 折居彪二郎資料「千島採集日誌(1928年)」の活字化,苫小牧市博物館館報2,47-74.
- 川崎慎二・大畑孝二・小玉愛子・長谷川充 2009. 折居彪二郎韓国採集日誌の活字化,苫小牧市博物館館報 6,25-87.
- 大畑孝二・鷺田善幸 2007. 折居彪二郎資料「パラオ。ヤップ、ミクロネシア諸島の鳥類について(1930年)」,苫小牧市博物館館報4,47-108.
- 齊藤郁子・嵩原建二 2003. 折居彪二郎資料「琉球及び大隈列島採集日誌(1921)」,沖縄大学地域研究所地域研究叢書 1, 160p.
- 齊藤郁子・嵩原建二 2004. 折居彪二郎資料「琉球採集日誌(1936)」,沖縄大学地域研究所地域研究叢書 3, 46p.
- 説田健一・齊藤郁子 2003. 折居彪二郎から柳原要二への書簡について,岐阜県博物館研究報告24,17-27.
- 説田健一・齊藤郁子・鷺田善幸 2006. 折居彪二郎資料「台湾採集日誌(1932)」,岐阜県博物館研究報告 27,1-49.
- 説田健一・齊藤郁子 2007. 折居彪二郎資料「満州採集日誌(1935)」,岐阜県博物館研究報告28,13-57.
- 説田健一・齊藤郁子 2009. 折居彪二郎資料「樺太鳥類ニ就テ(1926)」I,岐阜県博物館研究報告30,1-22.
- 説田健一・時田賢一 2001. 柳原要二鳥類コレクション標本目録,岐阜県博物館研究報告22,22-68.
- 苫小牧市立中央図書館 1998. 折居彪二郎採集資料目録,苫小牧市, 241p.
- 苫小牧市立中央図書館 1999. 折居彪二郎採集資料目録続,苫小牧市,152p.
- 山階芳麿 1927. 邦領南部樺太産鳥類の採集物について(上),鳥5(24),333-364.
- 山階芳麿 1927. 邦領南部樺太産鳥類の採集物について(下),鳥5(25),419-453.
- 山階芳麿 1927. 樺太産鳥類ニ新亜種. 動物学雑誌 25,419-453.